

# 第10回 通常総代会を開催しました

平成二十四年度第十回通常

総代会を五月二十五日木曽

町福島会館において、総代

一六九名（本人出席一〇五

名、書面六十四名）の出席の

もと開催しました。

議長に塙尻市木曽平沢の

巣山良久氏を選出し、平成

二十三年度事業報告等、提出

された九議案が審議され、原

案通り可決承認されました。



栗屋副組合長の開会の言葉から総会が始まり、続いて浦沢組合長の挨拶では、「先人

案通り可決承認されました。

## 〔事業報告〕

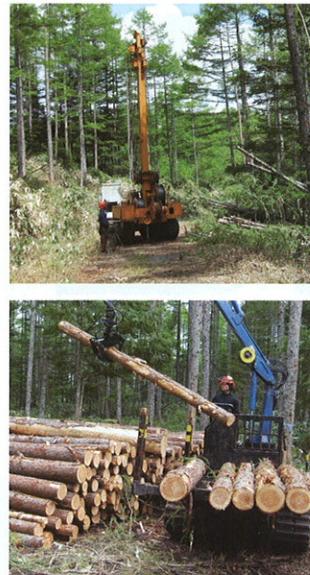
### 〔総括事項〕

平成二十三年度に発生した東日本大震災、岩手を中心とした長野北部地震。その後の記録的な猛暑・突風・ゲリラ的大雨による山地灾害。さらに海外におけるタイでの洪水など、自然災害が世界の経済動向にも大きく影響を及ぼしました。

さて、林業界を取り巻く状況は大きな制度改正の中、当組合も国・県の施策と系統運動である「森林組合21世紀ビジョン3rdステージ」に沿った年でした。特に、新たな補助制度へのスムーズな移行を目指し、必要な作業道の開設、林業機械の導入と技術者の育成等に積極的に取組んできました。その中でこれから山造りに向けては、山の所有者である組合員の皆さんとは今まで以上に話し合いの大切さを強く感じたところです。

また、木曽谷では下流域の愛知中部水道企業団と木曽川「水源の森」森林整備協定を結んで、森林整備を行っていますが、この協定のおかげで間伐等森林整備は大きく進んでおり、上流域の私達はもつと高く評価をし、感謝をすべきと感じております。

このように、平成二十三年度は新たな制度への対応という、とまどいの多い年ではありますましたが、各種事業には積極的に取組み、それぞれ工夫しながら、役職員総力を挙げて取組んできた結果、一定の成果をあげることができました。総取扱高は378,664千円を達成し、経常利益6,795千円を計上することができます。



## 平成23年度決算 平成24年度計画 (単位:千円)

部 門	23年度計画		23年度決算		24年度計画		
	取扱高	損 益	取扱高	損 益	達成率	取扱高	損 益
指導	2,000	△1,000	2,794	1	140%	1,000	△1,100
販売	62,586	24,046	71,860	28,589	115%	85,000	36,900
森林整備	136,600	71,600	123,470	61,439	90%	126,500	68,500
利用	92,000	8,150	170,996	19,067	186%	55,100	10,830
福利厚生	0	0	0	0	0	0	0
購買	8,000	1,600	9,536	1,531	119%	9,000	1,800
融資	8	2	8	2	0	0	0
森林整備部門計	236,608	81,352	304,010	82,039	128%	190,600	81,130
事業取扱高	301,194		378,664		126%	276,600	
事業総利益		104,398		110,629	106%		116,930
一般管理費		105,000		107,616	102%		116,800
事業外損益		1,000		3,782	378%		200
経常利益		398		6,795	1707%		330
特別損益		0		△1,408			△132
当期純利益		398		5,387	1354%		198
前期繰越剩余金		8,781		8,781			10,168
当期末処分剩余金		9,179		14,168			10,366

## 平成23年度 剰余金処分案 (単位:円)

科 目	積 算 内 訳	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剩余金				14,168,324
II 剰余金処分類				
1 法定準備金	当期剩余金の5分の1		2,000,000	
2 任意積立金 (損失補填積立金)			2,000,000	
III 次期繰越剩余金				10,168,324

脚注: 次期繰越剩余金中教育情報資金は300,000円である。

が決定し、直後の役員会において新体制が決まり、議長により発表された。（新体制は四ページに記載）

議長降壇のあと、技能職員功労者表彰及び退任役員に感謝の言葉を述べ、議事は閉められた。

謝状を贈呈し、ご来賓の長野県議員村上淳様、木曽森林管理署長高嶋伸二様、木曾地方事務所林務課長河合広様、長野県森林組合連合会常務滝澤栄智様よりご祝辞を頂戴しました。